

# 食の衛生管理 中小を支援

東京都は都内で食品を扱う工場や小売店の衛生管理強化を支援する。都はHACCP(ハサップ)という衛生管理手法に基づく独自の安全認証を設けているが、中小・零細企業を中心に取得していない業者が多い。このほど策定した3段階のプログラムに沿って衛生管理を強化してもらい、数年で認証取得業者の数を現在の2倍に増やしたい考えだ。

## 都、独自認証の取得指南

### 倍増の1000施設めざす

都の認証を示す確認証(写真上)と認証を取得した「みはし」玉川島屋S・C店(東京都世田谷区)



都外の施設も含め、約540施設が認証を取得している。ただ、都内には飲食店や食品製造・販売をしていない事業者が許可件数ベースで「約50万ある」(食品監視課)とされ、認証がごく一部にとどまっているのが実情だ。とりわけ、中小・零細で認証を取得している業者は限られている。

そこで、都の認証取得に向け段階的に衛生管理の施策に取り組みよう。プログラムを、食品工場やスーパーなど向けに策定した。実施項目を難易度別に3段階に分け、都が指定した審査事業者が聞き取り調査や目視確認にあたる。



都の衛生管理強化プログラムの主なチェック項目

- 基本(まず達成できていなければならない)
- 調理場の清掃は毎日行う
  - 作業台、シンクなどは1日1回以上、洗浄や消毒
  - 調理中、腕時計や貴金属類を外す
- 目標(一歩進んだ衛生管理)
- 清掃、洗浄、消毒の実施状況を確認し記録
  - 食品の請求書や領収書などを保存
  - 同じ作業台で下処理と盛り付けを同時に行わない
- 推奨(HACCPを目指す)
- 食品を開封後、他の容器で保存する場合、名称や製造者などを記録
  - 従業員の家族の健康状態を始業前に確認する
  - 食物アレルギーについて講習を受けるなどして正しく理解
- (注)飲食店の例

## 中高年の家活用支援

### 東武鉄道など子育て世代に賃貸

東武鉄道は移住・住みかえ支援機構(JTI)、東京・千代田と組んで、自宅を空き家にならずに他人へ貸したい中高年層の支援を始めた。相場より安い家賃で、JTIを通じて子育て世代などに転賃する。万一、借主が退去して一時的に空室になっても、JTIの準備金により家賃収入は途絶えない仕組みだ。

東武と不動産子会社、東武プロパティーズ(東京・墨田)はJTIの「マイホーム借上げ制度」を活用する。東武は沿線の駅などで支援事業についてPRするほか、賃料の査定や契約などの具体的な

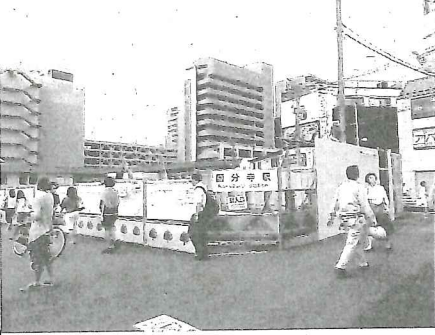
## 西新宿に就職支援拠点

### リクルートキャリア 若者の転職など

就職関連事業のリクルートキャリア(東京・千代田)は7月7日、西新宿に若者の支援拠点「就職Shopしんじゅ」を開く。非正規からの転職を望む若者らと面談し、新宿周辺にある中堅・中小企業に正社員として就職するのを後押しする。

## 国分寺駅北口 再開発動く

### ツインタワー着工へ



国分寺駅前にツインタワーのマンションができる

JR国分寺駅前の再開発が国分寺市の当初計画から半世紀を経てようやく着工にこぎつけた。25日、駅北口に超高層ツインタワーを建設する工事の安全祈願祭が開かれた。タワー内には近隣の観光名所や地元商店街の情報発信する拠点の設置も検討する。7月1日に着工し、完成は2018年3月を予定する。再開発では約2万1千平方メートルの敷地に地上35階

## 観光発信拠点も検討

国分寺駅北口はかつて、小規模な住宅や店舗が並んでおり、防災上の懸念が指摘されてきた。駅の南口と比べて活気も乏しかったが、再開発でにぎわいをもたらす。市は1965年に駅前広場を整備する都市計画を生かし、図書コーナーを決定したが、土地の買収などが難航し、計画が滞っていた。市は2013年に住友不動産と協定を結び、建物の建築・運営を任せることにした。

井沢邦夫市長は25日の式典で「ツインタワーは街のシンボルになり、周辺の街の活性化もはかれる。開発が進むことで、多くの方に国分寺の魅力を感じて来てほしい」と語り、

## 外国人好むレストラン トップ10に都内5店

外国人に人気の日本のレストラン2015

順位(前年度)	店舗名(所在地)
1(-)	おおつか(京都市)
2(12)	タバス モラキュラーバー(東京都中央区)
3(6)	はふう本店(京都市)
4(-)	平安楽(岐阜県高山市)
5(1)	松阪牛焼肉M法善寺横丁店(大阪市)
6(-)	SUSHI BAR YASUDA(東京都港区)
7(4)	久兵衛銀座本店(東京都中央区)
8(11)	神戸牛懐石511(東京都港区)
9(-)	きじスカイビル店(大阪市)
10(10)	一蘭渋谷店(東京都渋谷区)

(注) -は初登場

## トリップアドバイザー

均値や投稿数を基に集計した。2位に入ったタバス モラキュラーバーは、外資系高級ホテルのマンションの「一蘭渋谷店」(渋谷区)となった。

(中央区)にあるホテル直営レストランで、外国人旅行者の利用が多い。日本の食材を独特の調理パフォーマンスで楽しめる点を評価する声が多かった。前年度の12位から10ランク上がった。

上位にはすし店も多く6位に「SUSHI BAR YASUDA」(港区)、7位に「久兵衛銀座本店」(中央区)が入った。8位は牛肉料理の「神戸牛懐石511」(港区)、10位が豚骨ラーメンの「一蘭渋谷店」(渋谷区)となった。

## 八王子西から埼玉へも

### 圏央道にスマートIC

中日本高速道路会社は首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の八王子西インターチェンジ(IC)に埼玉方面への乗り降りができるスマートICを開設する。25日に起工式を行った。2016年度の供用開始を目指す。同市内から関越・東北自動車道へのアクセスが容易になるなど利便性が高まる。同市はスマートIC付近に物流系の企業団地を整備する計画を進めている。

スマートICは自動料金収受システム(ETC)搭載車のみが利用できるシステム。都内では中央道の府中ICに次いで2カ所目となる。

八王子西ICはこれまで「ハイウェイ」として中央自動車方面への乗降しかできなかった。スマートICの開設により、関越道や東北道につながる埼玉方面への乗り入れと同方面からの降車が可能になる。さらに、埼玉方面から降りる車はETC

## 上野アート催事 18年間の記録集

### 上野の森美術館など

上野の森美術館などは、美術イベント「アートリンク上野」の記録集をまとめた。7月5日に同美術館で販売を始める。1997年から18年続く同イベントはアートによる町おこしの先駆けとされる。まちづくり団体や美術関係者などに参考にもなる。

記録集はA5サイズで80ページ。イベントの誕生から現在までの経緯を解説文や写真、関係者の寄稿などで振り返る。2000年代半ばに休止の危機をどう乗り越えたかなどを知らせ、アートで町おこしを目指す人々を後押しする。

価格は1200円。発売日に東京国立博物館の木下史青デザイン室長や東京芸術大学の中村政人准教授などを招いた刊行記念シンポジウムを日展新会館(東京・台東)で開く。美術イベントの今後についても議論していくという。

東京